



# いばらき県議会だより

茨城県議会  検索 <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

「いばキラTV」<https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています  
音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています



発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6

Tel.029-301-5646 [年4回発行]

No.219

## 第2次茨城県総合計画 ～「新しい茨城」への挑戦～

県は3月に、令和4年度からの4年間の県政運営の基本方針となる「第2次茨城県総合計画～『新しい茨城』への挑戦～」を策定しました。

新たな県総合計画については、県議会の「変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会」で活発な議論を行い、議会からの提言が数多く盛り込まれた内容となっています。

### 計画の基本理念 「活力があり、県民が日本一幸せな県」

基本理念の実現に向け、新たに「いばらき幸福度指標※」を導入するとともに、ウィズコロナ・ポストコロナ時代を見据え、4つの「チャレンジ」を推進します。

#### 新型コロナウイルス感染症対策の強化

- ◆「新しい豊かさ」へのチャレンジ
- ◆「新しい安心安全」へのチャレンジ
- ◆「新しい人財育成」へのチャレンジ
- ◆「新しい夢・希望」へのチャレンジ

※計画の詳細についてはこちらからご覧になれます。  
<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/kikaku/seisaku/kikaku1-sogo>



### 2050年頃の茨城の姿

	高規格幹線道路
	広域幹線道
	主な幹線道路
	鉄道
	重要港湾・空港
	主なサイクリングロード 茨城県北ロングトレイル
	構想路線・鉄道

関東・上信越 方面

前橋・高崎 方面

北関東新産業東西軸

小山

さいたま新都心

リニア中央新幹線

大阪

名古屋

東京

スーパー・メガリージョン

成田

圏央物流リング  
(ゴールデンリング)

首都機能移転候補地  
(栃木・福島地域)

いわき



ことば ※【いばらき幸福度指標】…一人一人が幸せを実現できる環境の整備状況を「見える化」するため、令和4年度からの県総合計画で導入するもの。過去の政策の成果の確認と今後の政策課題の明確化などに活用する。

第1回定例会の概要

令和4年第1回定例会は、2月25日から3月24日まで28日間の会期で開かれました。

議案は、議員などから、茨城県犯罪被害者等支援条例、茨城県小規模企業振興条例、2023年主要国首脳会議(G7サミット)関係閣僚会合の茨城開催を求める決議、知事から、令和4年度茨城県一般会計予算などが提出されました。

代表質問は、大井川知事の県政運営の基本姿勢、県政運営の基本方針、新型コロナウイルス感染症対策の強化などの項目について行われました。(3~4面)

一般質問は、つくば地区の人口増加に対する県立高校の対応、コロナウイルス感染症対策から考える国と地方の役割、茨城県ケアラー・ヤングケアラーを支援し、共に生きやすい社会を実現するための条例に基づく取組などの項目について行われました。(5~7面)

各常任委員会では、付託議案の審査、その他所管事務に関する質問を行い、東日本大震災の教訓を踏まえた災害時情報の伝達方法、ヤングケアラーの実態調査などを議論しました。(8~9面)

予算特別委員会では、G7関係閣僚会合の誘致、本県農業の競争力強化などの質疑を行いました。(10面) 今回の定例会では、予算、条例、人事、報告、決議などの89件の議案が可決、同意、承認されました。

オンライン委員会を開催しました

3月10日の総務企画委員会において、災害時を想定し、オンラインで執行部からの説明聴取などを実施しました。

今後、課題などを検証し、円滑にオンライン委員会を開催できるように取り組みます。

令和4年1月臨時会の概要

令和4年1月臨時会は、1月28日に開かれました。

知事から、新型コロナウイルス感染症対策など国の経済対策に伴う補正予算に早急に対応するため必要な予算に関する令和3年度茨城県一般会計補正予算、専決処分報告などの議案が提出され、各会派から、提出議案について代表質疑が行われました。

また、議員から、新型コロナウイルス感染症対策の充実・強化を求める意見書が提出されました。これらの議案は、常任委員会の審査を経て、本会議での採決の結果、可決、承認されました。

質疑者

- 石井 邦一 (いばらき自民党)
- 二川 英俊 (県民フォーラム)
- 高崎 進 (公明党)
- 山中 たい子 (日本共産党)
- 設楽 詠美子 (立憲いばらき)

こちらから録画映像でご覧になれます。 <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

令和4年1月臨時会で可決された議案

議員提出

◆意見書 ○新型コロナウイルス感染症対策の充実・強化を求める意見書

知事提出

◆令和3年度補正予算関係

○一般会計補正予算 など

◆報告 ○地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について

令和4年1月臨時会 代表質疑(要旨)



石井 邦一 議員  
いばらき自民党  
常陸太田市・大子町選出

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

議員 感染者数が急増する中、オミクロン株の特徴を踏まえた対策を発信し、ワクチン3回目接種の促進や病床確保、自宅療養者などのケアに取り組みなければならぬが、どう対応していくのか。

知事 大規模接種会場再開や保健所の人員増強、中和抗体薬の投与体制などを一層強化していく。第5波時の1.5倍の877病床を確保したほか、自宅療養者などにも適切に対応していく。これまでと異なる感染状況を発信し社会経済活動の維持に全力を挙げていく。

県民の命と生活を守る 公共事業の推進

議員 公共事業投資は、災害に強い県土をつくるだけではなく、雇用や消費を生み出すなど経済対策の一面もある。県民の安全な生活を守り、疲弊した地域経済を立て直していく上で、公共事業を今後どう進めていくのか。

知事 災害に強い県土づくりに向け、久慈川・那珂川の緊急治水対策や東関東水戸線の整備などを国と連携し推進していく。また、県事業として流域治水や道路冠水対策、橋梁の耐震化のほか、漁港などの機能強化、海岸防災林保全など緊急性が高い箇所への事業をスピード感をもって執行していく。(ほかに、本県経済活動の維持と力強い回復に向けた支援、県民生活への支援と未来への投資なども質疑)



二川 英俊 議員  
県民フォーラム  
ひたちなか市選出

新型コロナウイルス感染症対策

議員 検査体制の拡充・整備、ワクチン追加接種の加速化による感染予防対策のさらなる徹底にどう取り組んでいくのか。

知事 医薬品卸業組合に検査キットの確保を要請した。早期に職場復帰できるようにPCR検査機器を搭載した水素燃料電池バスの活用も検討する。県内5カ所の大規模接種会場を再開し、職域接種は、接種状況や課題などを把握した上で企業などを支援していく。県民が理解・納得の上で接種を受けられるよう、ワクチン追加接種の効果や安全性、副反応などの正しい情報を丁寧に説明する。ワクチンの確実な供給を国に強く要望する。



高崎 進 議員  
公明党  
水戸市・城里町選出

新型コロナウイルス感染症拡大防止策の強化

議員 オミクロン株は軽症や無症状が多いが、感染者の増加に伴い病床逼迫のおそれがある。幅広い検査とワクチン接種が急務。県大規模接種会場での夜間接種も必要と考える。また、小児接種は保護者への情報提供が重要だが、所見は。

知事 薬局などでの無料検査は期間を延長する。県大規模接種会場の接種時間も柔軟に対応していく。小児接種については、効果や安全性、副反応など正しい情報提供に努め、市町村と連携し準備する。(ほかに、新型コロナウイルス感染者への対応の強化、ひとり親世帯に対する支援も質疑)



山中 たい子 議員  
日本共産党  
つくば市選出

検査体制の拡充

議員 クラスターが増えている学校や保育所などでも定期検査を行うべき。接触があった濃厚接触者と指定されなかった県民への検査に、どう対応するのか。

知事 抗原検査キットが全国的に品薄になつており、保育所などで予防的検査を直ちに実施することは困難。感染急拡大に伴い、濃厚接触者の対象を限定し検査しているが、今後、対象を有症状者に限定する緊急的対応も想定される。厳しい状況を踏まえ、濃厚接触が疑われる方は自宅待機いただき、症状が出た場合に医療機関を受診いただくようお願いしたい。(ほかに、いばらきあんしん割事業も質疑)



設楽 詠美子 議員  
立憲いばらき  
筑西市選出

低所得のひとり親世帯 生活支援特別給付金事業

議員 真に必要な方に、申請漏れが起こらないよう、しっかりとした制度周知が必要。また、入学シーズンなどに合わせた迅速な支給ができるよう、スピード感を持った対応に期待する。給付金の円滑な支給をどのように実施していくのか。

知事 市町村とも連携し、丁寧な情報提供と対象者の把握に努めていく。給付時期については、申請が不要な方については3月までに給付、申請が必要な方については5月末までに速やかな支援が届くよう取り組む。(ほかに、新型コロナウイルス感染症拡大への対応も質疑)

### 代表質問※(要旨)

**大井川知事の県政運営の基本姿勢**

議員 2期目の大井川県政が本格始動するに当たり、具体的に何を成し遂げ、持続的な成長と県民福祉の向上につなげていくのか。また、どのような信念をもち、県政を運営していくのか。

**知事** 「新しい茨城」づくりに向け、企業誘致や県産品のブランド化、海外展開など、工夫と深化を重ね差別化に取り組み、産業の活力を高めるとともに、未来を担う人財の育成に大胆な投資を行い、医療や福祉といった県民の安心安全につながる生活基盤の充実を図っていく。今後、座右の銘である「意志あるところに道は開ける」を実践すべく、新型コロナウイルス感染症の早期収束に全力で取り組みとともに「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向



飯塚 秋男 議員  
いばらき自民党  
下妻市選出

**新総合計画の策定**

議員 新県総合計画について、持続的に本県が発展を遂げていくグランドデザインを県民に示した上で、納得と共感を得ることが肝要であるが、何に重点をおいて策定するのか。

**知事** 2050年頃の茨城のグランドデザインとして、強い産業が築き上げられ、グローバル社会で活躍する人財が育ち、革新的技術により安心安全な暮らしが支えられていることなど、「活力があり、県民が日本一幸せな県」が実現されている姿を描いている。また、新たに「いばらき幸福度指標」を導入し、幸福に関する尺度を「見える化」した。計画推進に向け、4つのチャレンジを常に進化させながら加速することにより、県民幸福度No.1の実現に挑戦していく。

**県西地域の発展と拠点整備に向けた取組**

議員 県西地域の発展に向けた

**県の方針は。**

また、砂沼サンプーチ跡地における拠点整備に向けて、どう取り組むのか。

**知事** 坂東市内に新たな工業団地を造成するなど産業集積を加速するとともに、農産物のブランド力強化や販路開拓を進め、農業の成長産業化に取り組む。砂沼サンプーチ跡地利活用については、事業実施の候補者が選定されたが、民間事業者への協力として、民間投資により魅力的で持続可能な活用を図るといふ本事業の趣旨を基本としつつ、施設の広報やイベント誘致など誘客促進の面から民間事業者の取り組みを後押ししていく。

**積極的な企業誘致と産業用地の開発**

議員 本県の持続的発展につながる優良企業の立地を見据え、産業用地開発を目指すべきであ

**ポストコロナを見据えた観光戦略**

議員 コロナとの共生を見据えた観光需要喚起に向けて、県は

が、今後の企業誘致と産業用地の開発について、どのような方針のもと推進していくのか。

**知事** 圏央道沿線への企業の旺盛な立地ニーズを逃すことなく、企業誘致を進めるため、令和4年度当初予算案に坂東市における新たな工業団地の造成事業費を計上した。新県総合計画にて、新規開発による産業用地の目標値を200軒以上と定め、新たな産業用地の早期確保と企業立地に全力で取り組む。

## 第1回定例会の主な日程

令和4年第1回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 2月25日(金) **本会議**  
(開会、知事提出議案説明)
- 3月2日(水) **本会議**  
3日(木) (代表質問・質疑)
- 3月4日(金) **本会議**  
7日(月) (一般質問・質疑)
- 3月8日(火) **本会議**  
9日(水)
- 3月10日(木) **常任委員会**  
11日(金)  
14日(月)  
15日(火)
- 3月16日(水) **本会議**  
(予算関係議案常任委員長報告等)
- 3月17日(木) **予算特別委員会**  
18日(金)
- 3月22日(火) 変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会
- 3月24日(木) **本会議**  
(委員長報告、採決、閉会)

### いばらき幸福度指標による本県の順位

- チャレンジ別**
- I 豊かさ: 6位
  - II 安心安全: 38位
  - III 人財育成: 2位
  - IV 夢・希望: 13位

**総合 9位**

幸福に関する尺度を「見える化」

● 質問者

3月2日(水) 飯塚 秋男 (いばらき自民党)

3月3日(木) 齋藤 英彰 (県民フォーラム)

高崎 (公進党)

こちらから録画映像でご覧になれます。▶ <https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

## 「変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会」の調査結果を報告

本委員会(森田悦男委員長)は、調査の結果を第1回定例会最終日に報告しました。

(調査期間: 令和3年3月24日~令和4年3月24日)

委員会では、県総合計画策定に当たってのメルクマール(指標)とするとともに、変革の時代をリードする強い財政基盤と行政運営を構築するため、新時代の茨城づくりに向けた諸方策の在り方について、設置以降10回にわたり精力的に調査検討を行ってまいりました。

新たな県総合計画も、委員会からの提言の多くが反映されたところであり、県民の期待と信頼に応えるため、議会としても計画に描かれた夢や希望の実現に向け尽力してまいります。



調査結果の報告を行う森田悦男委員長

※調査結果報告書の全文はホームページでご覧いただけます。  
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/report/shinjidai.htm>



どのように取り組むのか。

**知事** 「いば旅あんしん割」については、感染状況を見極めつつ再開時期を適切に判断し、切れ目なく観光需要の早期回復を図っていく。今後は、アウトドア事業者と飲食や配送などの異業種とのマッチングによる新サービス創出など、キャンプやサイクリングを最大限活用した観光

地域づくりを推進するとともに、豊富な食資源などの魅力と組み合わせ新たな旅行企画の公募や来県動機につながる名物料理・土産品の開発などにより、観光消費の拡大を推進していく。(ほかに、脱炭素社会の実現に向けた県の方針、本県農業者の所得向上なども質問)

## 代表質問(要旨)



齋藤 英彰 議員  
県民フォーラム  
日立市選出

### 県政運営の基本方針

**議員** これまでの県政運営をどう評価・分析し、茨城の未来に向けた今後の方針をどう考え、新たな県総合計画でその方向性と具体的政策を県民に示すのか。  
**知事** 企業誘致や医師確保、教育改革、魅力向上などに果敢に挑戦し、県政は着実に進展した。新計画では、「活力があり、県民が日本一幸せな県」という基本理念などを継承しつつ、本県を取り巻く環境の変化への対応をしっかりと推し進めていく。

### 新型コロナウイルス感染症への対応

**議員** 新型コロナウイルスの拡大阻止に向け、今後どのような対策を講じていくのか。  
**知事** クラスタ対策は県内全小学校でのリモート学習の実施を要請した。入所系福祉施設でのワクチンの早期接種を図る。医療提供体制は、病床の追加確保や宿泊療養施設の拡充など県医師会と連携して強化する。自宅療養者のフォローアップ体制を強化する。保健所は他部署からの職員派遣を大幅に増強するなど、業務の負担軽減を図る。

### 日立総合病院における地域周産期母子医療センターの充実

**議員** ハイリスク分娩の母体搬送受入れなど、高度専門的な医療の提供が期待される日立総合病院の、地域周産期母子医療セ

ンターの安定的な運営継続と機能充実にどう取り組むのか。  
**知事** 安定的な運営に向け、運営費の支援を拡充する。より高度な県央地域の総合周産期母子医療センターとの連携を強化する。医師確保のため、修学資金などを活用した医師養成に取り組む。日立市、関係医療機関や大学と連携して支援していく。

### いばらき教育プラン

**議員** 県の教育振興の基本的な計画を定めた現プランにおける目標に対する評価と、新たなプラン策定では何を見直し、どのような具体的指標をもとに教育施策を展開していくのか。  
**教育長** 現プランの数値目標は、担当教員の英語力など、全体の37%で達成できたが、目標の達成に遅れが生じているものもある。新プランでは、子どもたちが自ら考え、行動し、未来を切り拓く力を育むため、施策の内容を見直すほか、大学進学率などの主要指標を設定する。また、幸福度指標として、課題の解決に向け自ら考え取り組む生徒の割合などを設定する。

(ほかに、児童虐待の防止、防災対策の今後なども質問)



地域周産期母子医療センターが再開される日立総合病院の新生児集中治療室



高崎 進 議員  
公明党  
水戸市・城里町選出

### 新型コロナウイルス感染症対策の強化

**議員** 高齢者の3回目接種の加速に向け、県北地域での継続的な大規模接種と接種率が低調な市町村での臨時の大規模接種を検討すべき。また、小児接種は市町村の接種体制構築への支援が必要と考えるが、所見は。  
**知事** 県北地域での臨時の大規模接種により高齢者の3回目接種を加速したが、進捗状況を踏まえ体制を強化する。小児接種は基礎疾患を持つ方から優先して接種を進めていく方針であり、引き続き市町村と連携して体制構築に取り組んでいく。

### 里親制度の活用推進

**議員** 健やかな育ちのため、親と暮らせない子どもが家庭的な環境の中で暮らせるよう取り組みは重要。国は「施設から家庭へ」を掲げ、里親と暮らす子どもの数を増やす方針を打ち出したが、どう取り組むのか。  
**知事** 里親委託を進めるため、里親支援専門相談員をほぼ全ての施設に配置したほか、里親の選定や養育中のアフターケアを民間の専門機関へ委託した。また、来年度からは民間フォスターing機関を県内2カ所に設置し、里親委託を加速していく。

### 医療的ケア児に対する支援強化

**議員** 本県でも相談にワンストップ

プで応じ、関係機関と連携して適切な支援につなぐ司令塔となる「医療的ケア児支援センター」の設置が必要と考えるが、医療的ケア児とその家族への支援強化にどう取り組むのか。  
**知事** 医療・福祉などの専門機関や家族会代表で構成する「医療的ケア児支援体制協議会」において、センターの機能などについて意見を伺っている。今後県域をカバーする相談支援機能の具体的な業務内容も含めより良い支援の在り方を検討する。

### 難聴児の早期発見・早期療育の推進

**議員** 難聴は早期に発見し適切に治療などを行えば言葉の獲得につながる。全ての新生児が聴覚検査を受診できる体制整備と速やかに適切な治療などが受けられる切れ目のない支援が必要であるが、どう取り組むのか。  
**知事** 受診しない原因を調査し対応を検討するほか、検査費用の負担軽減を市町村に働きかけていく。今後は、難聴児の支援に関わる医療、福祉、教育などの関係者による協議の場を通じて、ワンストップの支援体制構築など支援策の強化に取り組む。

(ほかに、超高齢社会への対応、流域治水対策なども質問)



新生児聴覚検査で早期発見・早期療育を

## 議員提案により「茨城県犯罪被害者等支援条例」が制定されました

第1回定例会で、議員提案により「茨城県犯罪被害者等支援条例」が制定され、令和4年3月29日に公布・施行されました。この条例では、犯罪被害者等<sup>※3</sup>の「被害の回復や軽減」、「生活の再建」、「支援に係る県民の理解の増進と人材の育成」などに関し、県が、国や市町村、民間支援団体などの役割分担を踏まえ、必要な施策を講じることなどを定めています。誰もが犯罪被害者等になり得る中、本県は、犯罪被害者等に寄り添い、その被害の回復や軽減と生活の再建を図り、平穏な生活を営むことができる社会の実現を目指します。



条例の提案説明を行う星田弘司議員

## 議員提案により「茨城県小規模企業振興条例」が制定されました

第1回定例会で、議員提案により「茨城県小規模企業振興条例」が制定され、令和4年3月29日に公布・施行されました。この条例では、「振興策の総合的・計画的な推進」、「事業活動の活性化に資する支援」、「地域経済の活性化に資する事業活動の推進」などに関し、県が、市町村や小規模企業関係団体などと連携して、必要な施策を講じることなどを定めています。本県は、事業者の約9割を占め、生活に必要なサービスを提供し、地域社会の担い手でもある小規模企業の振興を通じ、本県経済・地域社会の持続的な発展と豊かな県民生活の実現を目指します。



条例の提案説明を行う西野一議員

本県の議員提案政策条例は、これらの条例で22件目になります。県議会は今後も、積極的に政策立案に取り組んでまいります。

※これら2つの条例全文はホームページでご覧いただけます。

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/jourei/img/higaisha.pdf>

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/jourei/img/shoukibo.pdf>



犯罪被害者条例はこちら



小規模企業条例はこちら

# 一般質問(要旨)

## ●質問者

3月4日(金)

星田 弘司 議員  
(いばらき自民党)

八島 功男 議員  
(公明党)

沼田 和利 議員  
(いばらき自民党)

3月7日(月)

玉造 順一 議員  
(立憲いばらき)

山野井 浩 議員  
(いばらき自民党)

水柿 一俊 議員  
(いばらき自民党)

3月8日(火)

外塚 潔 議員  
(いばらき自民党)

磯崎 達也 議員  
(いばらき自民党)

山中 たい子 議員  
(日本共産党)

3月9日(水)

高安 博明 議員  
(県民フォーラム)

石塚 隼人 議員  
(いばらき自民党)

岡田 拓也 議員  
(いばらき自民党)

こちらから録画映像でご覧になれます。  
<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>



星田 弘司 議員  
いばらき自民党  
つくば市選出

### つくば地区の人口増加に対する 県立高校の対応

**議員** つくば地区は人口増加の一  
方、統廃合や募集枠減などにより  
市内県立高校の選択肢が少なく  
なっている。進学先確保に向けた  
周辺高校の募集枠増などの取り組  
みは。

**教育長** 中学卒業生数の変動に募  
集学級数の調整で対応しており、  
つくばエリアではつくば工科高校  
改編に伴い2学級増やすなど柔軟  
に対応していく。引き続き多様な  
ニーズに応じた県立高校の魅力化  
を図るほか、募集枠は志願者数の  
動向などを注視し検討していく。

### つくば特別支援学校の過密対策

**議員** これまで対策を講じてきた  
が問題解決には至っていないつく  
ば特別支援学校の過密状態につい  
て、1日も早い解消と教育環境の  
改善にどう取り組んでいくのか。

**教育長** 児童生徒数が令和6年を  
ピークに増加すると予想されるこ  
とを踏まえ、令和5年度から利用  
可能となるよう、校舎を増築する  
こととした。これにより転用教室  
の解消など、子どもたちの教育環  
境をより充実  
したものとし  
ていく。

(ほかに国際  
会議誘致、国  
道354号谷  
田部バイパス  
なども質問)



校舎の増築が予定される  
つくば特別支援学校



八島 功男 議員  
公明党  
土浦市選出

### コロナウイルス感染対策から 考える国と地方の役割

**議員** 現下の難局では、国と地方  
の連携が必要な一方、役割分担で  
齟齬が生じていると指摘される。  
地方が輝く時代、知事の国との連  
携と発信力に期待が高まるが、国  
と地方の役割について所見は。

**知事** 感染症対応では国と地方が  
緊密な連携を図りつつも、緊急時  
においては、地方こそインシアティ  
ブを持つべきと考える。自ら陣頭  
に立ち対策に取り組むとともに、  
本県が迅速かつ効果的な対策を講  
じられるよう国に働き掛けていく。

### 霞ヶ浦の新しい価値創造

**議員** 霞ヶ浦の未来構想を自由に  
論じたり、県民が生態系サービ  
スを実感し感謝できるような教育な  
どが必要。霞ヶ浦の新しい価値創  
造について、どう取り組むのか。

**県民生活環境部長** 生態系サービ  
スの価値を広く伝え、後世に引き  
継ぐことは私たちの使命。霞ヶ浦  
環境科学センターを拠点施設とし  
て、環境学習の推進や市民活動と  
の連携、霞ヶ浦に関する情報の収  
集・発信など  
に取り組んで  
いく。

(ほかに、成  
年年齢18歳の  
権利義務責任、  
成年後見制度  
なども質問)



霞ヶ浦と帆引き船

### 牛久沼を活用した地域振興

**議員** 牛久沼の特色を生かした一  
体感のある環境整備が行われ、よ  
り多くの方に牛久沼を訪れてもら  
いたい。今後、牛久沼を活用した  
地域振興に、どう取り組むのか。

**政策企画部長** 牛久沼周辺首長会  
議を母体とする新たな協議会に県  
も参画し、関係自治体が連携して  
取り組む。また、県内外から多く  
の方が訪れるような波及効果の高  
い取り組みについて応援していく。

(ほかに、県  
道竜ヶ崎阿  
見線の整備、  
国道408  
号(仮称)  
岡見バイパ  
スの整備な  
ども質問)



牛久沼を活用した地域振興を



玉造 順一 議員  
立憲いばらき  
水戸市・城里町選出

### 性的マイノリティ施策の推進

**議員** パートナーシップ制度の導  
入自治体間で転居手続きの簡素化  
の動きが出ている。本県がリーダ  
シップを発揮し自治体間連携を進  
めるべきと考えるが見解は。

**知事** 宣誓者の負担軽減や利便性  
向上のため、自治体間連携を図る。  
まず本県が主導して働き掛けてい  
る北関東3県を皮切りに、東京都  
などの交流の多い大都市圏を中  
心に連携を加速する。今後も、性  
的マイノリティの方々安心して暮  
らせる環境づくりに注力する。

### オンライン学習への対応

**議員** オンライン学習などの要請  
期間中に登校した子どもも理由を  
どう把握し分析したか。また家庭  
の通信環境整備にどう対応するか。

**教育長** 登校者のうち家庭の通信  
環境が整っていない割合は約11%  
であった。国の補助制度の周知や  
ルーター貸し出しなど事例を共有  
するほか、国へ予算拡充を要望す  
るなど、環境に左右されず学習で  
きるよう市町村と連携し対応する。

(ほかに、  
財政健全化  
の考え方、  
広域避難計  
画策定に対  
する知事の  
認識なども  
質問)



児童の様子を見ながら  
オンライン授業

## 「G7関係閣僚会合誘致推進協議会」を 設置しました

2023年に日本で開催される予定の主要国首脳会  
議、いわゆる「G7サミット」について、現在、茨  
城県では関係閣僚会合の水戸市開催に向け誘致を進  
めているところです。G7関係閣僚会合は、海外の  
要人をお迎えし、茨城県の魅力を国内外に発信する  
絶好の機会です。ポストコロナを見据え、観光産業  
をはじめとする地域経済の活性化にもつながるなど、  
会合開催は本県にとって大きな意義があるものです。  
そこで、3月24日の本会議において「G7関係閣僚  
会合誘致推進協議会」を設置しました。  
この協議会では、誘致実現を後押ししていくため  
の県議会としての取り組みなどを協議していく予定  
です。構成する委員15名は次のとおりです。

委員長	海野 透
副委員長	中村 信夫
委員	白田 信太郎
	白井 平八郎
	小川 一成
	川津 静隆
	星田 弘司
委員	金子 晃久
	山野井 浩
	豊田 茂
	村田 康成
	齋藤 英彰
	高崎 進
	玉造 順一

ことば ※【ヤングケアラー】…一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている18歳未満の子どもを指す概念。

### 一般質問(要旨)



山野井 浩 議員  
いばらき自民党  
つくばみらい市選出

#### 医療的ケア児とその家族への支援

議員 実態調査の結果を踏まえ、今後開催される協議会は、医療的ケア児の未来を左右する重要なものになる。幅広い関係者と一緒になって検討を進める必要があると思うが、どう取り組んでいくのか。

#### 保健福祉部福祉担当部長

議員 露地野菜の生産振興 露地野菜を中心に供給過剰による価格の低迷が目立っているが、露地野菜の生産振興に今後どう取り組んでいくのか。

#### 露地野菜の生産振興

議員 露地野菜を中心に供給過剰による価格の低迷が目立っているが、露地野菜の生産振興に今後どう取り組んでいくのか。

#### 農林水産部長

議員 露地野菜を中心に供給過剰による価格の低迷が目立っているが、露地野菜の生産振興に今後どう取り組んでいくのか。



さらなる露地野菜産地の振興を



水柿 一俊 議員  
いばらき自民党  
筑西市選出

#### 新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えた外国人材確保

議員 国の水際対策により外国人の入国が制限されてきたことから、県内産業への影響を危惧している。今後、外国人材確保に向けてどのように取り組んでいくのか。

#### 産業戦略部長

議員 国の水際対策により外国人の入国が制限されてきたことから、県内産業への影響を危惧している。今後、外国人材確保に向けてどのように取り組んでいくのか。

#### 安全運転への意識を高める取組

議員 本県では信号機のない横断歩道での車の停止率が低いなどの課題があるが、運転者の安全運転への意識をどう高めるか。

#### 警察本部長

議員 本県では信号機のない横断歩道での車の停止率が低いなどの課題があるが、運転者の安全運転への意識をどう高めるか。

議員 本県では信号機のない横断歩道での車の停止率が低いなどの課題があるが、運転者の安全運転への意識をどう高めるか。



モンゴルでの県内企業の説明会の様子



外塚 潔 議員  
いばらき自民党  
かすみがうら市選出

#### 通学路交通安全プログラム※2に基づく迅速な対策実施

議員 子どもは地域の宝で、安全な通学路の迅速な整備は、行政の最重要業務の1つである。通学路交通安全プログラムに基づく対策箇所を優先付けや予算付けの課題をどう認識し、どう取り組むか。

#### 警察本部長

議員 子どもは地域の宝で、安全な通学路の迅速な整備は、行政の最重要業務の1つである。通学路交通安全プログラムに基づく対策箇所を優先付けや予算付けの課題をどう認識し、どう取り組むか。



磯崎 達也 議員  
いばらき自民党  
ひたちなか市選出

#### ロック・イン・ジャパン・フェスティバルの会場変更の受け止めとひたちなか地域の観光誘客の推進

議員 年間70億円以上と言われる経済への打撃は計り知れず、新たな音楽イベントの成長とロック・イン・ジャパン・フェスティバルがいつでも戻れるよう、双方の後押しを要望する。会場変更をどう受け止め、民間観光イベントも含めた観光誘客にどう取り組むか。

#### 知事

議員 年間70億円以上と言われる経済への打撃は計り知れず、新たな音楽イベントの成長とロック・イン・ジャパン・フェスティバルがいつでも戻れるよう、双方の後押しを要望する。会場変更をどう受け止め、民間観光イベントも含めた観光誘客にどう取り組むか。



地元経済に多大な恩恵をもたらすロック・イン・ジャパン・フェスティバル

#### 国道354号急カーブ区間の緩和対策の進捗状況と今後の見通し

議員 かすみがうら市戸崎地区の国道354号のカーブ区間は交通事故が絶えず、地元では魔のカーブと言われてきた。早期のカーブ緩和対策完了に向けて取り組んでもらいたい。進捗と見通しは。

#### 土木部長

議員 かすみがうら市戸崎地区の国道354号のカーブ区間は交通事故が絶えず、地元では魔のカーブと言われてきた。早期のカーブ緩和対策完了に向けて取り組んでもらいたい。進捗と見通しは。



地域住民に見守られ通学する子どもたち

#### 不登校問題への対応

議員 教師と生徒の信頼関係が崩れ、不登校に陥ってしまうような事例も耳にする。生徒の情報共有をしていけば不登校から抜け出せるチャンスがあるにもかかわらず、見失っている事案があるのでは。

#### 教育長

議員 教師と生徒の信頼関係が崩れ、不登校に陥ってしまうような事例も耳にする。生徒の情報共有をしていけば不登校から抜け出せるチャンスがあるにもかかわらず、見失っている事案があるのでは。

議員 教師と生徒の信頼関係が崩れ、不登校に陥ってしまうような事例も耳にする。生徒の情報共有をしていけば不登校から抜け出せるチャンスがあるにもかかわらず、見失っている事案があるのでは。

#### 議会人事

##### 予算特別委員会

審査の一体性を確保するために設置される委員会です。

委員長	石井 邦一	委員	磯崎 達也
副委員長	中村 修	委員	長谷川 重幸
委員	葉梨 衛	委員	豊田 茂
委員	細谷 典幸	委員	村田 康成
委員	山岡 恒夫	委員	大和田 寛樹
委員	川口 政弥	委員	鈴木 義浩
委員	下路 健次郎	委員	高崎 英俊
委員	飯田 智男	委員	二川 義浩
委員	外塚 潔	委員	山崎 英俊
委員	水柿 一俊	委員	山中 英俊
委員	高橋 勝則	委員	玉造 たい子
委員		委員	福地 源一郎

##### 議員辞職など

3月2日付けで田口伸一議員(鹿嶋市選挙区)が、3月7日付けで島田幸三議員(小美玉市選挙区)が、4月15日付けで加藤明良議員(水戸市・城里町選挙区)が辞職されました。

##### ◆新議員

4月17日の茨城県議会議員鹿嶋市選挙区補欠選挙において、小松崎敏紀議員が当選され、同18日付けで営業戦略農林水産委員会の委員に選任されました。

#### 「新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会」を設置しました

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、県の命と健康を守るとともに、疲弊した社会経済活動を立て直すため、「ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた県の活性化に向けた諸方策の在り方」について調査・検討を行う「新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会」を、3月24日の本会議において設置しました。構成する委員15名は次のとおりです。

委員長	常井 洋治	委員	長谷川 重幸
副委員長	岡田 拓也	委員	石塚 隼人
委員	海野 透	委員	大瀧 愛一郎
委員	西條 昌良	委員	二川 英俊
委員	森田 悦男	委員	村本 修司
委員	戸井田 和之	委員	江尻 加那
委員	下路 健次郎	委員	設楽 詠美子
委員	飯田 智男	委員	

## 一般質問(要旨)



議員 山田 たい子  
日本共産党  
つくば市選出

### つくば市内における 県立高校の課題

議員 TX沿線開発により、つくば市では県立高校が不足している。既存校の魅力向上も必要だが、交通利便性のよい場所に県立の普通科高校を新設すべきだが、所見は、

教育長 つくば市では中学卒業者の市内進学が6人に1人なのは承知しているが、県立高校配置は、広域的に検討すべきと考える。卒業生数の動向や隣接エリアを含む志願状況などを注視し、同市内から通学可能な県立高校の募集定員増加などの対応を取っていききたい。



議員 高安 博明  
県民フォーラム  
日立市選出

### 4年目に向けた県北振興 チャレンジプラン

議員 地域活性化には人づくりが重要である。プランを旗印に、県北振興にどう取り組むのか。

知事 起業型地域おこし協力隊の増員に加え、協力隊マネージャーを配置し、地域のネットワークづくりを支援している。また、新たに事業化支援講座を実施し、起業家人材の育成と起業家コミュニティの形成促進を図る。さまざまな施策が着実に成果を上げるようプランに取り組み、地域に適した振興策を推進する。

### 医療的ケア児への支援

議員 医療的ケア児の家族を支援するため、レスパイト施設※1が必要。また、医療的ケア児支援センター※2早期設置について所見は、

知事 県内にレスパイト施設は20カ所あり、障害福祉圏域に設置されており、障害の状況に合わせた支援に努める。センターについては、医療・福祉専門機関や家族会代表からなる協議会で意見を伺いながら、ケア児へのよりよい支援の在り方を検討していく。



医療的ケア(たんの吸引)

### 日本一子どもを産み育てやすい 県を目指す取組

議員 産前産後の時期に妊産婦の不安や経済的負担を軽減することが必要である。どう取り組むのか。

保健福祉部福祉担当部長 妊産婦の不安には、助産師が自宅を訪問し悩みに丁寧に対応している。経済的負担には、マル福などの医療費助成や第3子以降の保育料完全無償化などのほか、出産一時金の引き上げも国に要望している。今後も少子化対策に全力で取り組む。(ほかに、更なる再生可能エネルギーの創出、国道245号の4車線化整備なども質問)



起業型地域おこし協力隊による視察研修の様子



議員 石塚 隼人  
いばらき自民党  
坂東市・五霞町・境町選出

### 圏央道周辺地域における新たな 産業用地の確保及び企業立地の加速化

議員 坂東市山地区において、新たに県施行により開発する産業用地に対する企業誘致の方針は、

知事 事業採算性の見直しや広大な面積、浸水想定区域外ということなど評価も高く、対象地として選定した。半導体や次世代自動車など成長分野の企業をターゲットに、1万社以上に対する設備投資意向調査や企業幹部への情報発信などを行い、本県経済全体への大きな波及効果が期待できる企業の立地を目指し、全力で取り組む。



議員 岡田 拓也  
いばらき自民党  
高萩市・北茨城市選出

### 地域リハビリテーション※3の推進

議員 理学療法の介護予防への活用やシルバリーリハビリ体操指導士養成事業の普及にリハビリ専門職との連携は重要である。人材確保にとどまらず、現場の声を行政に反映できるかも重要だが、考えは、

保健福祉部部長 茨城県リハビリテーション専門職協会などと連携し、専門職向けの講習会、自宅を訪問するリハビリ相談、リハビリ専門職の市町村派遣などを実施している。先進的な取り組みを行う市町村などの意見を参考にしていく。

### 若い世代のニーズに応じた 結婚支援

議員 結婚を希望する方の出会いを増やすため、どう取り組むのか。

保健福祉部福祉担当部長 本県の婚姻数は8年連続で減少し、コロナ禍の影響もあり、極めて深刻な状況。今後、広く県外在住者も含め新規会員の掘り起こしを促進するため、著名人を登用し、本県の結婚支援策のPRを強化する。さらに、同様の結婚支援策を展開している近隣県とも、会員登録などの面で相互に連携を強化していく。



産業用地の開発予定地  
(坂東市山地区周辺)

### 災害ボランティアの振興

議員 災害ボランティア条例制定により取り組みが強化された。事前登録のさらなる推進やボランティア活動をする団体などの連携強化、住民などの意識醸成などが必要だが、どう促進するか。

保健福祉部福祉担当部長 個人に加え団体を含めた登録の推進や、県防災ボランティアネットワークの活性化、県民参加のイベント開催などにより、促進を図っていく。(ほかに、県北振興の今後の方向性と起業型地域おこし協力隊の活用、小規模企業の振興なども質問)



「リハビリ相談」で、理学療法士が要介護認定者宅を訪問

## 今定例会で可決された議案など

議員など提出

### ◆条例の制定

- 茨城県犯罪被害者等支援条例
- 茨城県小規模企業振興条例

### ◆条例の一部改正

- 茨城県議会委員会条例の一部を改正する条例

### ◆意見書

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける学校給食関連事業者への支援の充実強化を求める意見書
- 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業への金融支援の強化を求める意見書
- 原油及び生活必需品の価格高騰から国民の生活及び経済を守る対策を求める意見書

### ◆決議

- ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議
- 2023年主要国首脳会議(G7サミット)関係閣僚会合の茨城開催を求める決議

### 知事提出

### ◆令和4年度当初予算関係

- 一般会計予算(11件)
- 特別会計予算(13件)
- 企業会計予算(6件)

### ◆令和3年度補正予算関係

- 一般会計予算(1件)
- 特別会計予算(13件)
- 企業会計予算(6件)

### ◆条例の制定

- 畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律に基づき畜舎等の技術基準を定める条例

### ◆条例の一部改正

- 茨城県行政組織条例の一部を改正する条例
- 職員の育児休業等に関する条例等の一部を改正する条例
- 茨城県国民健康保険財政安定化基金条例の一部を改正する条例

- 茨城県地域医療医師修学資金貸与条例の一部を改正する条例

### ◆条例の廃止

- 土浦・阿見都市計画事業阿見吉原土地区画整理事業施行規程を定める条例を廃止する条例

### ◆その他

- 包括外部監査契約の締結について

### ◆人事

- 教育委員会教育長の任命について
- 公安委員会委員の任命について

### ◆報告

- 地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について

### ※意見書および決議の全文は

議会ホームページでご覧になれます。

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/tayori/>  
[https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/tayori/tayori202202\\_pdf/ikensyo.htm#1](https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/tayori/tayori202202_pdf/ikensyo.htm#1)



# 常任委員会の審査から

## 総務企画委員会

**県有施設ネーミングライツ<sup>※1</sup>募集  
結果の評価と財源の用途は  
導入施設の多様化が図られた。  
施設維持管理費などに活用する。**

**問** 県有施設164カ所でネーミングライツの募集をした結果、応募は17カ所だった。どのように評価しているか。また、確保できる財源とその用途は、どう考えているのか。

**答** 今回は文化・スポーツ施設だけでなく、歩道橋や公園などの施設にも応募があり、導入施設の多様化が図られた。17施設の最低希望金額合計は年間2858万円で、実際にはこれ以上の収入が見込まれる。これらは、当該施設の維持管理などに活用していく。

**問** 新しい県総合計画について、県議会の意見は、調査特別委員会の提言が反映されているとの認識だが、県民からの意見は、どう聞いたのか。

**答** 県民からは、パブリックコメントのほか、ネットモニターやネットリサーチなどを活用して広く意見を聞き、計画に反映した。

**問** カーボンニュートラル産業先進県を目指し、基金設置など250億円超の予算措置が行われるが、なぜ今行わなければならないのか。

**答** 2050年カーボンニュートラルに向け、企業はまず2030年の温室効果ガス排



地元民の思いを受け止め、期待に沿った砂沼サンビーチ(上の写真)跡地の活用を

出46%削減を目指している。そのための大規模な設備投資の判断がここ数年以内に行われると見込まれることから、今まさに必要な予算と考える。

**問** 砂沼サンビーチ跡地の利活用について、資金や収支計画の状況は。利活用候補者が決まり、市民も期待している。3年間関わった部長の思いは。

**答** 資金調達と収支計画の詳細確認などを行っており、これを踏まえ進めていく。地元の皆様の熱い思いを受け止め、県西地域の交流拠点となるよう取り組んできた。引き続き、だ者が立派なものにしていくと信じ、期待している。

(ほかに、公共施設等総合管理計画と施設の長寿命化、T Xの県内延伸案なども質問)

## 防災環境産業委員会

**東日本大震災の教訓を踏まえた  
災害時情報の伝達方法は  
SNSの活用など多様な手段を  
用いて伝達していく**

**問** 東日本大震災の際には、県内における被災の実態などが県民や全国に伝わらなかつた反省がある。茨城県にテレビ局がないことを踏まえ、災害時の情報をどのように伝達していくのか。

**答** 災害時の情報は、全国放送のテレビやNHKの県域テレビを通じて情報伝達以外にも、市町村の防災行政無線、県のホームページ、SNSの活用など、多様な手段を用いて伝達していきたい。

**問** 不法投棄が増える中、対策を強化したが、どのような効果が見られたのか。

**答** 警察OBなど10名を不法投棄等機動調査員として採用し、監視体制と機動力を強化した。その結果、不法投棄や不適正な残土現場を24件発見するなど、事案の拡大防止が図られた。また、WEBカメラによる監視を強化し、反復した投棄が予測される現場の抑止につながっている。

**問** eスポーツは、世界的な盛り上がりを見せているが、産業の集積にどの程度の効果があるのか。

**答** eスポーツ関連企業は、事業開始当初1社であったが、



盛り上がりを見せるeスポーツ

昨年9月時点で19社まで拡大した。さらなる普及に取り組む、企業活動を活性化するとともに、新たな分野での活用を進め、広い分野で経済効果を波及させていきたい。

**問** いばらきアマビエちゃん、店舗の感染症対策に効果があったものの、利用者登録には成果が感じられない。どのように認識しているのか。

**答** 検査に結びついた件数が少なく、成果が十分でないという点は反省しなければならぬ。オミクロン株のようなウイルスに有効か、改めて検討が必要と考えている。

(ほかに、霞ヶ浦ふれあい指標<sup>※2</sup>の考え方、防災ヘリによるドクターヘリの補完的運航枠の拡大なども質問)

## 保健福祉医療委員会

**ヤングケアラーの実態調査の  
規模は  
中学校・高校の全学年を  
対象とした全数調査などを実施**

**問** ケアラ！ヤングケアラーの実態調査をすること自体が普及啓発につながる。より多くの人に調査協力を求めることが普及啓発にもつながる。実態調査の対象者や規模は。

**答** 県内全ての中学校・高校の全学年を対象とした全数調査に加え、小学6年生の一部抽出調査も検討している。さらに、市町村や民生委員の協力も得ながらさまざまな関係機関への調査も検討している。

**問** 茨城版コロナNextの判断指標について、臨機応変に変更し、早めに周知することが必要。今の時期(3月7日)に見直しをした理由は。

**答** これまでは、第3波の実績に基づく指標だった。今般、オミクロン株の特性を踏まえ、入院期間や重症化リスクなどを基に指標を変更した。変異株の特性は見込み難いが、特性に合わせて見直しを行う。

**問** 子どものコロナ感染を減らすために何を行うのか。学級閉鎖時の一斉検査の実施や、子どものいる家庭への検査キットの配布など、具体的な対策を求めたいが、所見は。

**答** 教職員や保育士へのワクチン接種の働き掛けや、家庭

内での感染対策の徹底を引き続き、県民に呼び掛けていく。一斉検査や検査キットの配布は課題もあるので、検査枠拡充と併せて検討していきたい。

**問** こども病院では、老朽化や狭隘化が課題だが、今後の在り方をどう考えているのか。

**答** 現実的には、現在の建物を改修しながら、最善の医療を提供していくことが基本になると考える。現在、隣の水戸済生会総合病院と連携しながら、工夫して対応している。今後の少子化の動向により、こども病院へのニーズや適正な病床規模も変わってくるため、状況を注視していきたい。(ほかに、医師の働き方改革の推進、介護職員の将来推計と確保策なども質問)

**ヤングケアラーとは**  
例えばこんな子どもたちです

ヤングケアラーの例示

※1【ネーミングライツ】…公共施設などに団体名や商品名などを冠した通称を付与する権利で、通称を施設などの名称として使用する代わりに、ネーミングライツ・パートナー(施設命名権者)からネーミングライツ料を頂くもの。  
 ※2【霞ヶ浦ふれあい指標】…霞ヶ浦流域における「農業産出額」「観光入込客数」などのデータと「景観」「匂い」などの五感に基づく県民モニター評価を点数化し、霞ヶ浦の恵みの豊かさを表す指標。



営業戦略農林水産委員会

デスティネーションキャンペーンをどう展開するか  
「アウトドア」や「食」などをテーマに取り組んでいく

問 令和5年秋にJRと協働で開催するデスティネーションキャンペーンをどのように展開していくのか。

答 本事業は全国最大規模の観光キャンペーンであり、令和4年度は、旅行事業者やメディアを招いた全国宣伝販売促進会議などを行う。ポストコロナにおける差別化を図るため、キャンプやサイクリングなどの「アウトドア」や、「食」、「新たな旅のスタイル」をテーマに取り組む。

問 台湾との経済交流促進において、輸出促進をどのように進めるのか。

答 輸出が解禁となった農産物と加工食品を対象に、まずは県産品のテスト販売を実施して台湾市場におけるニーズを確認する。その上で、公募により選定した県産品を現地コーディネーターと連携してバイヤーなどに売り込む。

問 新たな県総合計画では、どこに重点を置いて農業関連施策を展開していくのか。

答 儲かる農業の実現を重点施策に掲げ、経営者マインドを持って所得向上を目指す、意欲ある農業者の育成と確保に努める。ハード・ソフト両

面から農業者を後押しし、付加価値の向上や販路拡大などの販売面の対策と、生産拡大や品質向上など生産面の対策に取り組んでいく。

問 「いばらきの養殖産業」創出事業で取り組む、ブドウエビの養殖技術開発の現状と実用化に向けた計画は。

答 現状は親エビから採卵した卵の飼育試験を進めている。安定してふ化させることが課題である。チャレンジングな事業だが、出荷サイズに成長するまでの期間を踏まえ、令和7年度を目標とし、成功に向け最大限努力していく。

(ほかに、いばらき木づかいチャレンジ事業の運用、二所ノ関部屋を核とした県南地域の観光振興なども質問)



JRと協働で開催する観光キャンペーン

土木企業立地推進委員会

令和7年度までの産業用地確保の目標にどう取り組むか  
県施行の開発に加え、市町村や民間の開発を促進する

問 県は圏央道インターパークつくばみらいの開発を進め、新たに坂東山地区を造成する。令和7年度までの200畝以上の産業用地確保の目標にどう取り組むか。また、県施行の対象地はどう選定するのか。

答 県施行の開発に加え、市町村や民間の開発を促進し、目標達成を目指す。県施行は開発可能性調査を実施した上で課題を整理し、詳細な基準により対象地を選定していく。

問 常総水害を契機として、涸沼川などの河川整備が加速している。河川の重要性は氾濫しないと気が付きにくい。引き続き整備進捗に努められたいが、所見は。

答 近年の大水害発生を踏まえ、河川整備の予算を厚くし進めてきている。今後、しゅんせつなどの新しい国の制度を活用して整備を推進する。

問 出資法人である茨城県道路公社、茨城県土地開発公社、株式会社茨城ポートオーソリティの経営評価後の状況は。

答 茨城県道路公社は、管理道路の交通量が前年から伸び、収入も増えている。茨城県土地開発公社の経営改善には、ひたひたな地区未利用地の売

却が必要である。株式会社茨城ポートオーソリティは、売上高が増加し、良好な経営状況が維持される見通しである。

問 県内港湾の現状と課題に対する認識と、カーボンニュートラル社会への対応やデジタルトランスフォーメーション(DX)の進展などを踏まえた今後の展望は。

答 取扱貨物量は伸びているが、臨海部と内陸部とのアクセス向上などが課題である。今後は、企業がカーボンニュートラルに取り組みやすい環境づくりや高速道路と一般道の連携などが重要となる。

(ほかに、坂東山地区土地造成事業の収支見込み、霞ヶ浦浄水場への新たな高度浄水処理施設の整備なども質問)



整備が進む県内河川(鬼怒川・常総市上三坂地先)

文教警察委員会

学校給食業者からの要望に対し、県はどう取り組むか  
国の制度の活用を促すほか、市町村も含んだ有効な対策を市町村と連携して対応する

問 学校給食業者から県に要望書が提出されたと聞くが、どういった要望で、それにどう対応していくのか。

答 学校給食業者に特化した支援や市町村分も含んだ有効な対策などに係る要望であり、給食業者には国の既存制度などの活用を促していく。今後、国から、コロナなどで学校が臨時休業となった場合の給食業者の負担軽減に係る契約内容例も示される予定であり、市町村と情報共有していく。

問 教員不足に対応するため講師確保に向け、どのような課題があるのか。また、報酬アップなど、講師の処遇改善が必要と考えるが、所見は。

答 志願者数の確保が課題であり、教職を魅力ある職として志願者を増やし、講師確保につなげたい。講師の処遇改善は予算の問題もあり、総合的に検討していく。また、教育予算の増額に関しては、国に対して要望を行っている。

問 道路交通法の改正の背景や期待される効果は何か。

答 改正趣旨は、高齢運転者対策の充実や強化である。効果として、認知機能検査の3分類から2分類への簡略化や

教習所で2回2日にかけて実施していた高齢者講習と認知機能検査が1日の実施となり、高齢者の負担が軽減される。

問 空き巣被害や金属盗難被害の防止のためにどう取り組んでいるのか。

答 空き巣被害の未然防止のため、地域住民や防犯ボランティア団体などに対し、ひばりくん防犯メールなどを通じ、広報啓発をしている。また、金属類を狙った窃盗事件の発生実態を分析し、多発地域におけるパトロール強化や、県民に対し、自主防犯対策を促す取り組みを行っている。

(ほかに、高校間における志願者数などの均衡がとれた教育環境づくり、捜査用ウェブカメラなども質問)



講師のさらなる処遇改善を

# 予算特別委員会

## ●質疑者

3月17日(木)

加藤 明良 (いばらき自民党)

高安 博明 (県民フォーラム)

村本 修司 (公明党)

中村 はやと (無所属)

長谷川 重幸 (いばらき自民党)

3月18日(金)

鈴木 将 (いばらき自民党)

玉造 順一 (立憲いばらき)

江尻 加那 (日本共産党)

大瀧 愛一郎 (いばらき自民党)

戸井田 和之 (いばらき自民党)

こちらから録画映像でご覧いただけます。



<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>

中、商品の差別化を図るなど、競争力の強化にどう取り組むのか。

営業戦略部長 海外量販店では、品目ごとにさまざまな国や産地から供給され、競争は激しさを増している。消費者の本県産選択を促すため、かんしょを焼き芋で販売するなどの具体的な食べ方の提案を行ったり、パイヤーに対し、産地リレーによる安定供給を積極的に提案するなど、他国産との差別化を行い、競争力の強化を図っていく。

(ほかに、新産業廃棄物最終処分場、学校におけるフッ化物洗口の取組なども質問)

村本修司委員(公明) カーボンニュートラル産業拠点創出に向けた県の取り組み方針は。また、LNG基地や発電プラントメーカーなどを擁する日立港区周辺はメタネーション<sup>※2</sup>の拠点として有望と考えるが、いかがか。

政策企画部長 大規模産業のカーボンニュートラル対応に向けた体系的な支援策を令和4年度予算で構築した。港湾機能の高度化や中小企業支援など、企業が投資しやすい環境の整備も進め、産業拠点の創出に取り組む。日立港区ではメタネーションの地産地消モデルの実現につなげる方策を検討する。

(ほかに、新産業廃棄物最終処分場の安全対策及び工程、災害避難における妊産婦・乳幼児への配慮なども質問)

中村はやと委員(無所属) いばらき幸福度指標は、主観的指標との組み合わせにチャレンジすることや、指標の公表後に寄せられるさまざまな意見を踏まえ、柔軟に見直していく必要があると考えるが、所見は。

知事 何を幸福と感じるかは一一人異なるため、その測定や経年比較が難しく、政策の成果との相関も現れにく

いという課題がある。そのため、個人の幸せと相関が高いと考えられる客観的指標を中心に選定している。なお、指標は、毎年、直近の統計値で更新するとともに、幸福度に関する研究成果、県民からの意見などを踏まえ、より適切なものとなるよう検討していく。

(ほかに、迅速な3回目ワクチン接種、工業高校の魅力向上なども質問)

長谷川重幸委員(自民) いばらきオーガニックステップアップ事業について、常陸大宮市にモデル団地の整備が進められているが、今後どのように有機農業を県内に波及させていくのか。

農林水産部長 有機農業に適する農地を生産者に紹介するほか、堆肥による土壌改良などの現地実証を行う。また、有機農業の指導員を育成するとともに、県が新たに有機JAS登録認証機関となることで、認証取得数を増やしていく。大手量販店などの契約販売や輸出も見据えて、大口の需要に応えられるよう、生産者や実需者などで組織するネットワークを立ち上げ、共同出荷や販路の開拓につなげていく。

(ほかに、みどりの食料システム戦略、農業資材等の高騰なども質問)

鈴木将委員(自民) カーボンニュートラルの取り組みの加速化のためには、茨城県の強みである、つくばをはじめとする科学技術やイノベーションの集積を生かしていくことが必要だが、所見は。

知事 県の協議会の下で、つくば地域での水素の研究開発などの取り組みを糾合し、共同研究の推進などによる研究開発の加速化や、企業の新たな事業展開につなげるとともに、臨海部での技術実証や新エネルギーの需要量調査など足下の取り組みもしっかりと支援

し、プロジェクトの具体化を促進していく。さらに、広く専門家の意見を聞き、産業拠点の創出に活かしていく。

(ほかに、移住・二地域居住の推進と関係人口の創出等、アニマルウェルフェアと家畜の適正な飼養管理も質問)

玉造順一委員(立憲) 県央地域には、いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム<sup>※3</sup>に5つの高等教育機関が参加するなど、さまざまな強みがあるが、新たな県総合計画において県央地域の振興をどのように図っていくのか。

知事 今後、地域が生き残るためには、地域が自らの特徴や強みを伸ばし、他との差別化を図る必要がある。地域が主体的に考え、地域づくりに取り組むことが重要である。県においては、県でないとできない産業育成やインフラ整備などを推進し、地域の取り組みと合わせて行い、新しい総合計画に掲げた県央地域の将来像の実現を目指す。

(ほかに、高等教育機関との連携による地域振興、最低賃金制度に関する認識なども質問)

江尻加那委員(共産) 県立高校の1人1台パソコン整備について、18府県が県負担で端末を購入し100%整備しているが、本県は30%に届かず全国で下から2番目である。要因は、保護者負担で1年生だけを対象に購入させたためであるが、なぜ公費で整備しないのか。購入困難な家庭はどうするか。

教育長 保護者負担で購入することとしたのは、本人所有ならば、卒業後も情報資産を活用できるためである。購入困難な世帯には、県が整備した端末を貸与し、令和3年度貸出実績は1年生全体の4・8%。これに準ずる世帯には購入費の一部を補助しており、実

績は1年生全体の4・2%である。

(ほかに、公立中学校の部活動負担、県立こども病院機能拡充なども質問)

大瀧愛一郎委員(自民) 県では、命の危険が迫っている救急搬送において、ドクターヘリを運用しているが、夜間や悪天候時には飛ぶことができない。県民の命を守るためには、夜間運航の実現への検討を進め、救急搬送体制を充実させることが必要では。

保健福祉部長 夜間運航は事故のリスクなどの課題がある。今後、設備や費用面などに加え、実施効果なども整理し、必要性も含め検討していく。一方、搬送時間が長い地域では、高度な医療機関との遠隔画像診断補助システムを通じた連携、ドクターカー運行体制の強化促進、緊急的かつ専門的な治療が必要な分野の医師確保などを進める。

(ほかに、儲かる農林業、空き家バンクの課題と活用なども質問)

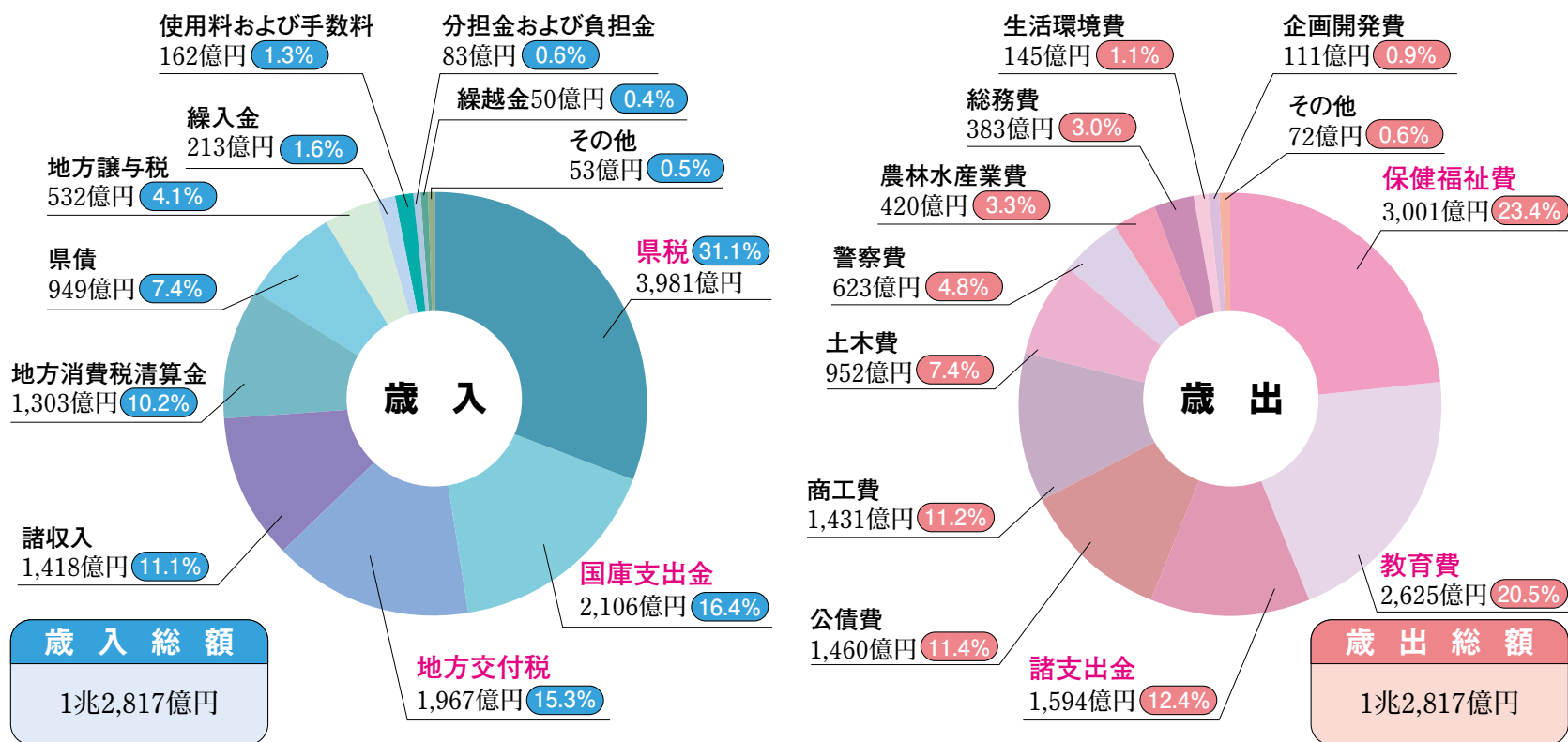
戸井田和之委員(自民) 不法投棄が、地元石岡市小見地区をはじめ数多く見られるが、現状および課題は。また、自然豊かな美しい県土を守っていくため、不法投棄撲滅にどう取り組むのか。

県民生活環境部長 令和2年度に発生した197件のほとんどが小規模事案で、多くは、夜間などを狙って所構わず投棄する、いわゆるゲリラ投棄である。警察や市町村と連携した監視体制強化や、県民総ぐるみでの発見・通報体制整備などに努めている。また、廃棄物の不適正保管事案については、行為者などに対し、法に基づき厳しく指導しており、手を緩めず対応していく。

(ほかに、大規模自然災害時における逃げ遅れ対策、認知症対策の課題と市町村などの取組への支援なども質問)

ことば ※3【いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム】…茨城県内の大学および高等専門学校が、地域の歴史や伝統、風土や文化を尊重しつつ、県内地方公共団体および産業界などと連携・協働して地域の振興に寄与すると同時に、茨城県の魅力を世界に発信することを通じて、「いばらき」の発展に資することを目的として設立。

# 令和4年度一般会計予算の内訳



## 主な事業

### ◎新型コロナウイルス感染症への対策

- 医療提供体制の充実 (596億5,600万円)
- ワクチン接種体制の強化 (106億3,300万円)
- 検査体制の拡充 (115億1,000万円)
- 小学校の臨時休業に伴う放課後児童クラブの実施に対する補助 (3億1,500万円)
- リモート授業や教育のテレワーク環境構築などにかかる端末やシステムの整備 (7億7,300万円)
- 経営改善や新たな事業分野への進出に取り組む中小企業・個人事業主の資金繰りへの支援 (874億5,300万円)

### ①「新しい豊かさ」へのチャレンジ

- 新カーボンニュートラル先導モデル創出推進事業 (5,000万円)

- 新いばらきカーボンニュートラル産業拠点創出推進事業 (3,800万円)
- 新港湾計画調査事業(カーボンニュートラル関連分) (1,700万円)
- 新中小企業資金融資制度関連事業(カーボンニュートラル関連分) (18億3,000万円)
- 新カーボンニュートラル産業拠点創出推進基金積立金 (200億円)
- 新いばらきフードロス削減プロジェクト推進事業 (1,100万円)
- 新デスティネーションキャンペーン事業 (1億700万円)

### ②「新しい安心安全」へのチャレンジ

- 新看護・介護・障害福祉職員等処遇改善関連事業 (41億1,100万円)
- 新介護福祉士養成校外国人留学生受入支援事業 (900万円)

- 新介護職種技能実習生日本語能力向上支援事業 (600万円)
- 新ケアラー・ヤングケアラー支援事業 (900万円)

### ③「新しい人財育成」へのチャレンジ

- 新大学進学率アッププロジェクト事業 (8,200万円)
- 新ダイバーシティ推進・啓発事業 (2,000万円)

### ④「新しい夢・希望」へのチャレンジ

- 新台湾いばらき経済交流促進事業 (5億円)
- 新TX県内延伸調査検討事業 (1,800万円)
- 新情報化普及啓発推進事業(DX(デジタルトランスフォーメーション)プロジェクト推進事業分) (2,800万円)

今回の、令和4年第2回定例会は、6月6日から20日までの15日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
6. 6	月	議会運営委員会 本会議(開会、知事提出議案説明)
7	火	休会(議案調査)
8	水	休会(議案調査)
9	木	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑)
10	金	本会議(一般質問・質疑)
11	土	本会議(一般質問・質疑・議案常任委員会付託) ※「休日議会」
12	日	
13	月	休会(委員会審査準備)
14	火	休会(常任委員会)
15	水	休会(常任委員会)
16	木	休会 (新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会)
17	金	休会(議事整理)
18	土	
19	日	
20	月	議会運営委員会 本会議(委員長報告、採決、閉会)

### 「休日議会」を開催します

県民の皆様への政治への参画を推進するため、第2回定例会において、6月11日(土)に「休日議会(13時開会)」を開催いたします。

〔傍聴の問合せ先〕茨城県議会事務局・議事課 ☎0293015634

**駐日ウクライナ特命全権大使の県議会来訪記念行事を開催しました**

3月16日に、セルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ特命全権大使が県議会に来訪され、記念行事を開催しました。

県議会は、全国の地方議会に先駆け、2月25日に「ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議」を全会一致で可決し、3月3日には、白田信夫議員と小川一成議員が在日ウクライナ大使館を訪問して、全議員から集まった人道的義援金を贈呈しました。

記念行事では、これらに対するお礼と併せて、ウクライナの現状について話したいとの大使の意向を受け、大使による講演が行われました。

講演に先立ち、伊沢勝徳議長が「戦火の拡大に伴い被害に遭われた方々に心からのお見舞いを申し上げる。力を背景とした、一方的な現状変更への試みは断じて看過できず、1日も早い停戦を切に望んでいる」と挨拶し、講演では、大使から、ウクライナの窮状とともに、多方面からの支援に対する感謝、復興支援に対する思いなどが述べられました。

講演後、海野透議員が「1日も早く、ウクライナが平和を取り戻すことを祈念する」と締めくくりました。

※「駐日ウクライナ大使 茨城県議会来訪記念行事」はこちらからご覧いただけます。

[https://ibaraki-pref.stream.jfrc.co.jp/?p=play\\_vod&inquiry\\_id=1140](https://ibaraki-pref.stream.jfrc.co.jp/?p=play_vod&inquiry_id=1140)

講演するセルギー・コルスンスキー駐日ウクライナ特命全権大使

# 常任委員会の構成

令和4年3月24日選任  
(小松崎敏紀議員は、令和4年4月18日選任)  
◎印は委員長／○印は副委員長

定数62人  
(現員58人)

丸数字は当選回数 ( )内は所属党派

## 総務企画委員会



◎下路健次郎<sup>3</sup> (いばらき自民党) ○磯崎 達也<sup>2</sup> (いばらき自民党) 飯塚 秋男<sup>7</sup> (いばらき自民党)



白井平八郎<sup>7</sup> (いばらき自民党) 飯田 智男<sup>4</sup> (いばらき自民党) 村田 康成<sup>1</sup> (いばらき自民党) 大瀧愛一郎<sup>1</sup> (いばらき自民党)



遠藤 実<sup>2</sup> (県民フォーラム) 八島 功男<sup>3</sup> (公明党)

総務企画委員会は、11人(現員9人)で、税財政、市町村振興、交通体系整備、地域振興、情報化などに関する調査、審査します。

## 防災環境産業委員会



◎外塚 潔<sup>3</sup> (いばらき自民党) ○塚本 一也<sup>1</sup> (いばらき自民党) 白田 信夫<sup>7</sup> (いばらき自民党)



村上 典男<sup>4</sup> (いばらき自民党) 豊田 茂<sup>1</sup> (いばらき自民党) 鈴木 義浩<sup>1</sup> (いばらき自民党) 二川 英俊<sup>2</sup> (県民フォーラム)



江尻 加那<sup>2</sup> (日本共産党) 福地源一郎<sup>5</sup> (無所属)

防災環境産業委員会は、10人(現員9人)で、消防防災、文化振興、環境保全、中小企業育成、労働などに関する調査、審査します。

## 保健福祉医療委員会



◎川口 政弥<sup>3</sup> (いばらき自民党) ○石塚 隼人<sup>1</sup> (いばらき自民党) 西條 昌良<sup>8</sup> (いばらき自民党)



細谷 典幸<sup>7</sup> (いばらき自民党) 石井 邦一<sup>4</sup> (いばらき自民党) 鈴木 将<sup>3</sup> (いばらき自民党) 高橋 直子<sup>1</sup> (いばらき自民党)



高安 博明<sup>1</sup> (県民フォーラム) 田村けい子<sup>4</sup> (公明党) 山中たい子<sup>4</sup> (日本共産党) 設楽詠美子<sup>3</sup> (立憲いばらき)

保健福祉医療委員会は、11人で、保健、福祉、医療などに関する調査、審査します。

## 営業戦略農林水産委員会



◎高橋 勝則<sup>2</sup> (いばらき自民党) ○坂本 隆司<sup>1</sup> (いばらき自民党) 葉梨 衛<sup>8</sup> (いばらき自民党)



半村 登<sup>7</sup> (いばらき自民党) 山岡 恒夫<sup>6</sup> (いばらき自民党) 戸井田和之<sup>4</sup> (いばらき自民党) 舘 静馬<sup>4</sup> (いばらき自民党)



星田 弘司<sup>3</sup> (いばらき自民党) 村本 修司<sup>1</sup> (公明党) 小松崎敏紀<sup>1</sup> (無所属)

営業戦略農林水産委員会は、10人で、観光、県産品販路拡大、農林水産業などに関する調査、審査します。

## 土木企業立地推進委員会



◎長谷川重幸<sup>2</sup> (いばらき自民党) ○山野井 浩<sup>1</sup> (いばらき自民党) 海野 透<sup>9</sup> (いばらき自民党)



小川 一成<sup>7</sup> (いばらき自民党) 森田 悦男<sup>6</sup> (いばらき自民党) 川津 隆<sup>6</sup> (いばらき自民党) 西野 一<sup>4</sup> (いばらき自民党)



岡田 拓也<sup>3</sup> (いばらき自民党) 大和田寛樹<sup>1</sup> (いばらき自民党)

土木企業立地推進委員会は、10人(現員9人)で、道路、河川、港湾、住宅、公園、産業立地、上下水道や工業用水道事業などに関する調査、審査します。

## 文教警察委員会



◎水柿 一俊<sup>2</sup> (いばらき自民党) ○沼田 和利<sup>1</sup> (いばらき自民党) 常井 洋治<sup>6</sup> (いばらき自民党)



伊沢 勝徳<sup>5</sup> (いばらき自民党) 中村 修<sup>3</sup> (いばらき自民党) 金子 晃久<sup>2</sup> (いばらき自民党) 齋藤 英彰<sup>3</sup> (県民フォーラム)



高崎 進<sup>4</sup> (公明党) 玉造 順一<sup>1</sup> (立憲いばらき) 中村はやと<sup>1</sup> (無所属)

文教警察委員会は、10人で、学校教育、社会教育、芸術・文化、警察などに関する調査、審査します。